

生徒の学習状況についての実態および定期考査等を含む 学力調査の結果等を踏まえた内容別・観点別の分析表

【社会】

〈学習状況についての実態〉

- ・ 基本的な知識に関しては、個人差があるものの概ね身に付いている。
- ・ 発問に対して、自分の意見を発表することに積極的な生徒が多い。
- ・ グラフや写真などの資料の読み取りに苦手意識をもっている生徒が多い。

〈区学力調査の分析〉

- ・ 「知識」に関する問題の正答率が高いが、「思考力」や「技能」に関する問題の正答率は平均値より低い。
- ・ 内容の分析としては、一問一答形式の問題は高い正答率だが、「資料の読み取り」に関する問題の正答率は平均値より低い。

〈都学力調査の分析〉

- ・ 観点別の調査結果の「A 教科の内容」は、ほぼ4観点とも正答率は、都の平均値よりも高くなっている。
- ・ 「B 読み解く力に関する内容」では、「取り出す力」や「読み取る力」は正答率が高いが、「解決する力」は他に比べて不足している。

〈今後の課題〉

- ・ 基本的な知識を確実に定着させる。
- ・ グラフや統計資料などを用い、授業の中で資料を読み取る機会を増やす。
- ・ 自分の意見や考えを、文章として表したり発表できるようにさせる。